2027年北京世界陸上競技選手権大会

参考和訳：原文をあわせてご確認ください。

資格取得制度

はじめに

ワールドアスレティックスは、2027年北京世界陸上競技選手権大会への競技者参加に向けた資格制度および参加基準を定める責任を負う。本資格制度は、競技者が加盟国陸連による選考対象となり、同大会において代表チームの一員として競技に参加するための条件および仕組みを定めるものである。 選抜の対象となる資格は、常にワールドアスレティックスの資格規則（こちらを参照）を満たすことが条件となる。同規則には、例えば、現在出場停止処分や出場資格喪失の宣告を受けていないこと、女子カテゴリーに参加するには生物学的女性であること、あるいは他の加盟国陸連を代表するために国籍変更の申請中または決定済みでないことなどが含まれる。 したがって、ワールドアスレティックスの規則および規程は、2027年北京世界陸上競技選手権大会への競技者の出場資格には適用されるが、同大会において加盟国陸連が競技者を代表して選出する決定については規定しない。

参加資格取得制度および参加基準は、競技者の選考適格性を決定するのみであり、加盟国陸連のより広範な選考方針および手続きの一部を構成する場合がある。 加盟国陸連を代表する個々の競技者の最終選考は、各加盟国陸連の単独の責任であり、その独自の選考方針および手続きによって行われる。加盟国陸連の選考方針は、予選基準、世界ランキング、成績の安定性、国内選考会の成績、コンディション、およびチーム戦略上の考慮事項など（これらに限定されない）様々な要素を考慮に入れることができる。

加盟国陸連はまた、本資料に記載された資格要件を満たした競技者の早期特定および事前エントリーを含め、定められた期限までに競技者をワールドアスレティックス種目エントリーシステムに登録する責任を負う。加盟国陸連は、選考決定を行う際／選考会を開催する際、本資料に記載された期間および期限を考慮に入れ、競技者がそのような決定に対して異議を申し立てることができる公正な手続きを確保しなければならない。 したがって、競技者の選抜または不選抜に関する質問や異議申し立ては、当該加盟国陸連の選抜方針および手続きに従って処理されなければならない。

本文書は、2027年北京世界陸上競技選手権大会に適用される詳細な資格システム、参加基準、および主要な締切日に関する、ワールドアスレティックスから加盟国陸連へのすべての公式通達と併せて読む必要がある。

参加条件

- 個人種目
  各加盟国陸連は、以下に定める条件に従い、各種目につき最大3名（ワイルドカードの場合は4名）の資格を有する競技者を参加させることができる。4人目（ワイルドカードの場合は5人目）の資格を有する競技者は、補欠としてエントリーすることができる。

- リレー種目
  各加盟国陸連は、以下の条件に従い、各リレー種目につき1つの資格取得チームをエントリーできる。計6名の競技者をエントリー可能とする。男子および女子の4×100mリレーおよび4×400mリレーについては、それぞれの個人種目（100mおよび400m）にエントリーされた個人競技者を含めなければならない。

- 資格未取得の競技者
  以下のいずれにも該当しない加盟国：
  - 参加標準（下記参照）を満たした男子および／または女子競技者がいなければ、

- 世界ランキングにより資格を得た男子および／または女子競技者がいない；
- 資格を有するリレーチームがない；

は、2027年北京ワールドアスレティックス世界陸上選手権の個人種目1種目につき、資格を満たさない男子競技者1名、または女子競技者1名をエントリーすることができる（フィールド競技（次の2段落参照）、複合競技、10,000m、3,000m障害走を除く）。

フィールド種目で最も優秀な競技者を擁する加盟国は、出場を希望する競技者の氏名と、資格期間中の最高記録をワールドアスレティックスに提出することができる。技術代表は、そのようなエントリーを受け入れるかどうかを決定し、その際、関連するエリア陸連の意見を求め得る。

開催国に当該種目の資格を有する競技者、またはリレーチームがいない場合、その種目に1名の競技者（またはリレーチーム）をエントリーすることができる。ただし、複合競技およびフィールド競技においては、これは技術代表の承認を要する。

資格を持たない競技者は、各種目の資格保持者ターゲットナンバーに加算される。

技術代表の承認が必要な場合、申込締切日（teamservices@worldathletics.org 宛てに送付）時点での世界ランキング上位の競技者が優先される。

- マラソン：2027年4月26日
- 競歩およびフィールド種目：2027年8月16日

- 年齢区分

16歳未満の競技者 – 2027年12月31日時点で16歳未満（2012年以降生まれ）の競技者は出場できない。

参加資格取得制度：要件

- 一般

参加資格取得制度は、主に参加標準と世界ランキングの組み合わせに基づく。競技者の約40%は参加標準により、60%は世界ランキングにより参加資格付与が決定される。

- 参加基準および世界ランキングの有効期間

マラソン：2025年11月3日から2027年5月2日深夜0時まで（タイムゾーンを問わず）の18ヶ月間。

10,000m、マラソン競歩、ハーフマラソン競歩、混成競技、リレー：2026年2月23日から2027年8月22日深夜0時まで（タイムゾーンを問わない）。

その他の全種目：2026年8月23日から2027年8月22日深夜まで（タイムゾーンを問わない）。世界ランキングには、現行の種目別ランキング規則および期間が適用される。

- 個人種目の出場資格

競技者は以下の4つの方法のいずれかで資格を得ることができる：

- 下記の基準に従い、予選期間内に参加標準を達成すること。
- 以下の指定大会における順位に基づき出場資格を得る。
  - すべての個人種目（マラソンを除く）におけるエリアチャンピオン。ただし、同一エリアから同種目に既に資格を有する競技者がエントリーしていないことが条件となる。エリアチャンピオンの加盟国陸連は、独自の選考基準に基づき、当該競技者をエントリーするかどうかについて最終的な決定権を有する。具体的な追加条件については、以下の「エリアチャンピオン」の項を参照のこと。
  - 資格期間中に開催されるプラチナ・ラベル・マラソンにおける上位5名、および2027年（5月2日まで）に開催されるゴールド・ラベル・マラソンの優勝者。
- ワイルドカードとして：
  - 2025年の世界選手権王者

- 2026年ワールドアスレティックス・アルティメット選手権の優勝者
- 2026年開催の以下の大会の優勝者：
  1. ワールド・レースウォーキング・ツアー（ハーフマラソンRWまたはマラソンRWへの参加資格）
  2. ワールド・コンバインド・イベントツアー
  3. コンチネンタル・ツアーにおけるハンマー投げのトップ選手（成績順）
- 2027年ダイヤモンドリーグの優勝者

同一国の2名以上の競技者が同一種目でワイルドカードの対象となる場合、このワイルドカードによる出場は1名のみとする。この基準により、加盟国陸連から1種目に4名の競技者が出場資格を得た場合、4名全員の出場が認められる。

- 各ランキング期間終了時点における世界ランキング順位による。同順位の場合、パフォーマンススコアが次に高い競技者が優先される。パフォーマンススコアは、陸上競技の全成績を対象とした世界ランキングシステムの以下の要素に基づき算出される：競技者の計測結果（結果スコア）および競技会での順位（順位スコア）。世界ランキングおよびパフォーマンススコアの詳細については、こちらを参照のこと。

ワールドアスレティックスは、世界陸上競技選手権大会に向けて、各種目の予選状況（Road to Beijing）に関するリストを定期的に更新し、公開する。これは、適宜、ワールドアスレティックス公式サイト（www.worldathletics.org/stats-zone ）の「Stat Zone」セクションに掲載される。

競技者のランキング決定プロセス *（括弧内はマラソンの日程）*

- 予選期間終了後、目標人数に基づき、ワールドアスレティックスは各種目について以下を決定する：
  - 参加標準を満たして予選通過した競技者の数（最終予選枠で同順位となった場合、同順位の全競技者が予選通過となる。ただし、同順位による影響として、世界ランキングによる予選通過競技者数が減ることになる）；
  - 指定大会での順位に基づき出場権を得た競技者の数
  - ワイルドカードの対象者；
  - 各種目の目標人数を満たすために、世界ランキングの順位に基づき追加で資格を得る競技者
  - 世界ランキングで次に上位の競技者。
- 加盟国陸連による選考対象となる出場資格者のリストは、マラソンについては2027年5月5日、その他の種目については2027年8月25日に公表される。出場資格者リストの公表は、ワールドアスレティックスによる競技者の「選考」と解釈されたり、競技者を選考しない理由とみなされたりしてはならない。加盟国陸連は、それぞれの選考方針および手続きに従って、競技者の選考を確定しなければならない。
- 加盟国陸連は、2027年8月27日 *（マラソンは5月7日）* のモナコ時間深夜までにエントリーを事前提出するよう求められ、資格を有する競技者に加え、エントリーを希望する世界ランキング上位の次点競技者も含める必要がある。この事前提出されたエントリーは、実質的に加盟国陸連が選考対象として検討している競技者である。
- エントリー事前提出後の辞退があった場合、ワールドアスレティックスは、加盟国陸連から提出された事前エントリーに基づき、世界ランキングで次に順位の高い競技者を特定し、加盟国陸連によるエントリー候補として提案する。ワールドアスレティックスは、2027年5月8日（マラソン）およびその他の全種目については2027年8月28日、モナコ時間午後12時までに、各加盟国陸連にその旨を通知する。
- マラソン種目において、8月22日までにワールドアスレティックスが辞退の事実を把握した場合、加盟国陸連による選出の確認を条件として、5月7日までに事前エントリーされていた競技者のうち、ランキングが次に高い競技者にのみ、その出場枠を再配分する。
- 加盟国陸連は、2027年8月30日（モナコ時間午後12時）のエントリー締切日までに、最終エントリー内容を確認し、完了させなければならない。

- リレー種目の出場資格
  - リレーチームは、以下の2つの方法のいずれかで出場資格を得ることができる
    - 2026年5月26日にハボローネで開催される「ワールドアスレティックス・リレー」の上位12チーム。

- 予選期間終了時点で、残りの4枠を埋めるために、最高順位に入ったチームの一つであること。 ランキングの算出にあたり、リレーレースの結果は、ワールドアスレティックス規則に準拠して開催された大会の一部であり、かつ少なくとも2カ国を代表する2つの異なる国際チームが当該大会に出場している場合に限り有効となる。同点の場合、結果は千の位で区別される。それでも同点の場合は、ワールドリレーズでの最高成績が優先される。

- リレーランキング決定プロセス
  - 予選期間終了後（すなわち2027年8月22日）、2026年ワールドアスレティックス・リレーから予選通過したリレーチームが判明した時点で、ワールドアスレティックスは、ワールドアスレティックス・トップパフォーマンスリストにおける順位（予選期間全体での最高成績に基づく）に基づき、予選通過チームを決定する。
  - ワールドアスレティックスは、予選期間終了後48時間以内に、関係する加盟国陸連に対し、ワールドアスレティックスのメールアドレス（xxx@mf.worldathletics.org ）宛てに通知を行い、24時間以内の返信を求める。
  - 辞退、キャンセル、または返信がない場合、次に資格を有するリレーチームが選定され、招待される。招待手続きは、2027年8月27日、モナコ時間午前0時に終了する。
  - 予選を通過しなかった開催国チームは、枠を割り当てられない。

種目別競技者・チームターゲットナンバー

（資格を満たさない競技者は含まない）

種目	ターゲットナンバー
100m	48
200m 400m	48
800m	56
1500m	56
3000m障害	36
5000m	42
10,000m	27
100mハードル、110mハードル、400mハードル	40
フィールド種目	36
混成競技	24
マラソン	100
ハーフマラソン競歩	50
マラソン競歩	50
リレー	16

2027年北京世界陸上競技選手権大会

参加資格

男子	種目	女子
9.95	100m	10.96
20.07	200m	22.45
44.45	400m	50.00
1分43秒00	800m	1分57秒50
3:30.00	1500m	3分58秒00
12分50秒00	5000m / 5kmロード	14分36秒00
26:48.00	10,000m / 10km ロード	30:40.00
2:06:00	マラソン	02:23:20
8:08.00	3000m 障害走	9分06秒50
13.18	110mハードル / 100mハードル	12.60
48.00	400mハードル	54.00
2.30	走高跳	1.96
5.90	棒高跳び	4.75
8.25	走幅跳	6.86
17.35	三段跳	14.40
21.50	砲丸投	19.30
67.20	円盤投	64.50
78.30	ハンマー投	74.00
85.50	やり投	63.40
	七種競技	6550
8620	十種競技	
01:23:00	ハーフマラソン競歩	01:33:10
03:01:00	マラソン競歩	03:28:00
WREトップ12＋トップリストから4名	4×100m	WRE上位12名＋トップリストから4名
WRE上位12名＋トップリストから4名	4×400m	WRE上位12名＋トップリストから4名
WRE上位12名＋ランキング上位4名	4×100m混合	WRE上位12名＋トップリストから4名
WRE上位12名＋ランキング上位4名	4×400m混合リレー	WRE上位12名＋トップリスト上位4名

選考目的における記録の有効条件

- すべての記録は、ワールドアスレティックス、そのエリア陸連、またはその国内連盟が主催または公認し、ワールドアスレティックス規則・規程（競技会規則および競技規則を含む）に従って実施された大会において達成されなければならない。
- ナショナル・パーミット競技会の場合、上記に加え、すべての記録は、所定のプラットフォームを通じてグローバル・カレンダーへの掲載申請が事前にワールドアスレティックスに提出された競技会で達成されなければならない。当該競技会のリストはグローバル・カレンダーに掲載される（こちらを参照）。

- 参加基準については、すべての記録は世界ランキングカテゴリーC以上の大会で達成されなければならない。唯一の例外はロードランニングの記録（マラソン、10km、5km）であり、これらはワールドアスレティックス・ラベル（カテゴリーE）のロードレースでも達成可能である。下位カテゴリーの大会で達成された記録も、世界ランキングにおいては有効である。
- 陸上競技の種目については、以下の通りとする：

トラック種目において、男女混合の競技区分で記録された成績は認められない。ただし例外として、ワールドアスレティックス競技規則第9.4.1条に基づき、5000mおよび10,000mの同時開催スタジアム競技において、男女のいずれか一方または両方の競技者が不足し、別々のレースを実施することが正当化されない状況下で記録された成績は、認められる場合がある。 また、ある性別の競技者が他性別の競技者に対してペースメーカー役を務めたり、支援を行ったりしていないことが条件となる。該当する場合、加盟国陸連は必要な書類を添付の上、ワールドアスレティックス競技部門（competition@worldathletics.org ）に具体的な申請を行う必要がある。

風の影響を受けた記録、または風速の測定値が得られない記録は、参加標準の目的では認められない（ただし、適切な調整を施した上で世界ランキングには有効となる）。

100m、200m、400m、800m、110m/100mハードル、400mハードル、および4×100mリレーにおける手動計測の記録は認められない。

200m以上のレースにおけるショートトラックでの記録は、参加基準としては認められない。ただし、世界ランキングには認められる。

標準より長いショートトラック（長さが201.2m［220ヤード］を超え、400m以下）で行われた走の種目の記録は、標準的な400mトラックで達成されたものと同様に有効かつ認定される。

円盤投の出場基準記録は、ワールドアスレティックス競技部門から少なくとも1ヶ月前に別途承認されない限り、伝統的な陸上競技施設の範囲内で達成されなければならない。ただし、世界ランキングには認められる。

混成競技については、以下の条件のうち少なくとも1つを満たさなければならない：

- 各種目における風速は、プラス4メートル毎秒を超えてはならない。
- 平均風速（各個人種目で測定された風速の代数和を、その種目の数で割った値）が、プラス2メートル毎秒を超えないこと。

- ロードレースおよび競歩については、以下が適用される：ロードレース（マラソン、ハーフマラソン、10km、5km）
  - 予選基準を満たす記録は、ワールドアスレティックス／AIMS認定の「A」または「B」級国際ロードレースコース計測員によって計測されたコースでのみ達成され、その計測証明書はレース開催日から5年以内に発行されたものでなければならない。
  - 参加基準として、スタート地点からゴール地点までの標高差は、1:1000、すなわち 1 km あたり 1 m を超えてはならない。
  - 5kmおよび10kmの参加標準において、混合レースで記録された女子の成績は認められない。
  - 世界ランキングにおいて、標高差が1:1000を超えるコースで記録された成績については、結果スコアに補正が加えられ、標高差に応じてポイントが差し引かれる。
  - マラソン予選コースに関するお問い合わせは、alessio.punzi@worldathletics.org まで。

競歩

- 予選としての記録は、ワールドアスレティックスまたはAIMSの「A」または「B」グレードの国際ロードレースコース計測員によって計測され、レース開催日から5年以内に発行された計測証明書を有するコースでのみ達成できる。
- ワールドアスレティックス認定の金、銀、または銅レベルの競歩審判員が、最低3名以上配置されていなければならない。
- 世界ランキングの対象となり得る競歩種目のトラックでの成績は、すべて認められる。
- 予選競歩大会に関するお問い合わせは、competition@worldathletics.org まで。

エリアチャンピオン

ワールドアスレティックス世界陸上選手権への自動出場資格については、以下の規程が適用される（リレーおよびマラソンは対象外）。

1. エリアチャンピオン（世界選手権で行われる各個人種目）は、同一種目に同一エリアから他の予選通過競技者がエントリーしていないことを条件として、世界選手権への自動出場権を得る。
2. エリアチャンピオンとは、2025年、2026年、または2027年のいずれかの前回のエリア選手権でタイトルを獲得した者を指す。
3. エリアチャンピオンの加盟国陸連は、自国の国内基準または資格取得システムに基づき、当該競技者を出場させるか否かについて最終的な決定権を有する。
4. エリアチャンピオンの加盟国陸連が当該競技者をエントリーした場合、その競技者は出場資格を有するものとみなされる。
5. 何らかの理由でエリアチャンピオンが出場登録されない場合、その枠は2位の競技者に譲渡されず、資格システム：基準および条件が適用される。
6. 特定の種目が設定されていないエリア選手権については、エリア陸連は、エリア選手権規程に準拠した条件の下で、そのエリア特有の代替選手権を開催することができる。このような代替選手権については、開催の少なくとも2ヶ月前までにワールドアスレティックスに通知しなければならない。

法的通知

1. 期限やエントリー要件を遵守しない場合、ワールドアスレティックスは加盟国陸連に対して追加措置（制裁を含む）を講じる可能性がある。
2. 本文書に基づくリストの公表はすべて、個々の競技者がワールドアスレティックス の規則および規程（こちらを参照）に従って参加資格を有していることを条件とする。 競技者は、アスレティックス・インテグリティ・ユニット、ワールドアスレティックス、懲戒・上訴審判所、セーフガード・ケース・マネジメント・グループ、スポーツ仲裁裁判所、または所属加盟国陸連のいずれかによって発出された、陸上競技およびそれゆえの2027年北京世界陸上選手権への参加を停止、禁止、またはその他の方法で妨げるいかなる懲戒決定の対象となってはならない。
3. 加盟国陸連の選考方針および手続きを除き、加盟国陸連は、いかなる状況においても、本文書または一般に定められた条件や基準に追加の条件や要件を課したり、それらを回避したりしてはならない。